



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

第 1 レース レポート

2016/9/10 Rd-5 岡山国際サーキット

天候：晴れ時々曇り 気温：37℃ 出走台数：19 台

2016 シーズンもいよいよ終盤戦へ。本来 オートポリスで開催予定だった第 5 戦は、4 月に発生した熊本地震の影響から、代替戦として岡山国際サーキットで、土曜日の Race1 (20 分の予選と 110 km の決勝) と、日曜日の Race2 (ノックダウン第 1 & 第 2 予選とタイヤ交換義務付けの 190 km 決勝) の 2 レース制で開催される。

Race1 のスタートグリッドを決める 20 分間の予選、野尻選手、バンドーン選手 とともに新品タイヤを装着して開始早々にアタックへ向かった。しかし予選開始からわずか 6 分、コースアウト車両による赤旗で予選は中断。この時点でバンドーン選手は 3 番手。野尻選手はアタックを中断したため 13 番手。7 分後に予選は再開され、残り 6 分で 2 セット目の新品タイヤを装着しアタック。バンドーン選手は第 2 セクターでベストタイムを、野尻選手は第 3 セクターでベストタイムをそれぞれ計測したが、わずかに届かずバンドーン選手 3 位。野尻選手 4 位で予選を終えた。

迎えた Race1 は 30 周で争われるスプリントレース。ポールポジションの中嶋選手がスタートグリッド位置を間違ったためスタートは一時延期され、中嶋選手はペナルティとして最後尾スタート。レースは 2 周減算の 28 周で再スタートとなった。ここで抜群のスタートを決めたのはバンドーン選手。1 コーナーを首位で立ち上がると、スーパーラップを連発し後続を一気に引き離し、5 秒近いリードを保ったままスーパーフォーミュラ初優勝を決めた。野尻選手は 4 位でオープニングラップを周回。3 位にプレッシャーをかけ続けるがポジションキープの 4 位で Race1 を終えた。

40：野尻 選手 予選 4 位 決勝 4 位 HONDA 勢 2 位

今日の第 1 レースは予選とスタートが重要だったので、そこに集中して臨みました。

車は非常に高いパフォーマンスを持っているのですが、ギアチェンジの不調があり本来の力を引き出すことが出来ませんでした。この部分が解消されれば、ポールを取りレースを勝てる力が我々にはあるので、明日はしっかり結果として表せるようにしていきたいです。

41：バンドーン選手 予選 3 位 決勝 優勝 HONDA 勢 首位

前戦茂木から車のパフォーマンスは大きく前進していて、予選で野尻選手とともに 2 列目 (3 位 & 4 位) を獲得できたのは良かったね。スタートに集中し、トップになってからはひたすらプッシュしたよ。2017 年の F1 マクラーレン・ホンダのレギュラーシートが決まったこの週末にスーパーフォーミュラ初優勝できて本当に嬉しい。明日はまた新たな一日が始まるから、明日も良い結果にしたいね